

目 次

はしがき

第 I 部 「巨大ロボット」とは何か

- 第 1 章 巨大ロボットの想像力 【池田太臣・木村至聖・小島伸之】 2
- 1 はじめに 2
 - 2 チャベックと現代社会 3
 - 3 人型ロボットの想像力 5
 - 4 ロッサム社未完のプロジェクトの継承——巨大人型ロボット 8
 - 5 チャベックを超えて——「搭乗する」というリアリティ 10
 - 6 おわりに 12
- 第 2 章 持続する巨大ロボットアニメの想像力 【池田太臣】 14
- ▶新作 TV アニメ放送作品数の年次推移から
- 1 はじめに 14
 - 2 新作 TV アニメ放送作品数の推移 15
 - 3 巨大ロボットアニメ放送作品数の推移 19
 - 4 第四次アニメブームと巨大ロボットアニメ 26
 - 5 おわりに 27
- 第 3 章 海外におけるロボットアニメ事情 【レナト・リベラ・ルスカ】 30
- ▶アメリカを中心に
- 1 はじめに 30
 - 2 アメリカ文化におけるロボット観 31
 - 3 商業的側面——玩具による巨大ロボットの普及 36
 - 4 英語圏以外のヨーロッパの状況 39
 - 5 おわりに 43

第Ⅱ部 「巨大ロボット」を社会学する

- 第4章 巨大ロボットと身体 【木村至聖】 46
- ▶ 「人型」であることの意味
- 1 はじめに 46
 - 2 巨大ロボットの身体の社会性 48
 - 3 「科学の鎧」としての巨大ロボット 51
 - 4 「鎧」から「皮膚」へ 55
 - 5 おわりに 58
- 第5章 巨大ロボットとジェンダー 【荒木菜穂】 61
- ▶ 『機動警察パトレイバー』と働く女性の未来
- 1 はじめに 61
 - 2 「働く女性」のリアル 62
 - 3 『パトレイバー』で描かれる女性の活躍 68
 - 4 イングラムがもたらした「力」とは何か 74
 - 5 おわりに 77
- 第6章 「組織」としての巨大ロボット 【木村至聖】 79
- ▶ 巨大な力を支えるもの
- 1 はじめに 79
 - 2 なぜ巨大ロボットを通して「組織」について考えるのか 81
 - 3 巨大ロボットアニメにおける組織 84
 - 4 流動化する現代社会における「組織」の解体と再編 91
 - 5 おわりに 93
- 第7章 巨大ロボットと宗教 【菅 浩二】 95
- ▶ 「神にも悪魔にも」
- 1 はじめに 95
 - 2 操縦と変身と 96
 - 3 召命される操縦者 99
 - 4 浮遊する人型 101
 - 5 舞台の舞台 103

6	カミと神の交錯	105	
7	おわりに	108	
第8章	巨大ロボットと戦争		【小島伸之】 112
	▶『機動戦士ガンダム』の脱／再神話化		
1	はじめに	112	
2	戦争への分析視覚	113	
3	ガンダム以前の巨大ロボットアニメにおける「戦争」	115	
4	『機動戦士ガンダム』における戦争	117	
5	ガンダムシリーズにおける「戦争」	124	
6	おわりに	129	
第Ⅲ部 「巨大ロボット」と現実世界			
第9章	巨大ロボットとビデオゲーム		【塩谷昌之】 134
	▶物語世界の接合を可能にする場の構造		
1	はじめに	134	
2	『スーパーロボット大戦』というゲーム	135	
3	ゲームのデザインの変遷	141	
4	ルールとフィクションの相互作用	145	
5	おわりに	149	
第10章	巨大ロボットと玩具／模型		【松井広志】 151
	▶虚構を内部化／外部化するメディア		
1	はじめに——巨大ロボットアニメと玩具／模型	151	
2	3つの玩具論	153	
3	1970年代の巨大ロボットと玩具——超合金マジンガーZを中心に	155	
4	1980年代の巨大ロボットと玩具／模型 ——クローバー製ガンダムとガンブラを中心に	159	
5	おわりに——虚構を内部化／外部化するメディア	166	
第11章	巨大ロボットと観光		【岡本 健】 170
	▶現実・情報・虚構空間をめぐる想像力と創造力		
1	はじめに	170	

- 2 巨大ロボットがいる空間とその移動 171
- 3 観光資源としての巨大ロボット 173
- 4 おわりに 188

あとがき

参考文献

索引

著者紹介